



Vernal Equinox Day：授業アイデア（簡単版）

春分の日（春のお彼岸）をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 教室で「真東」を探そう

小学校・15分

🌀 方角の英語（east, west, north, south）を、春分の日 of 太陽と結びつけて覚える。

1. east / west / north / south をジェスチャーつきで練習する。
2. 方位磁針（compass）で教室の東を確かめ、Point to the east! のゲームをする。
3. The sun rises in the east. The sun sets in the west. を声に出して読む。
4. 春分の日には太陽が真東からのぼることを伝え、家で朝日を見てみようと言をかける。

2. 春分の日を英語で30秒スピーチ

中学・25分

🌀 本文の表現を使い、日本の祝日を外国の人に30秒で紹介できる。

1. 本文を読み、使えそうな文に線を引く（national holiday / visit graves / botamochi など）。
2. 「いつ・何を・おもしろい事実」の3つで原稿を作る。
3. ペアで練習し、相手の発表から1つ質問をする。
4. 数人が全体で発表し、聞き手は一番おもしろかった事実をメモする。

3. なぜ日付が変わる？天文学ミニ実験

中学・30分

🌀 地球の公転と暦のずれを英語の簡単な説明とモデルで理解する。

1. ボールと電灯で地球と太陽のモデルを作る。
2. One year is about 365 days and 6 hours. を確認し、4年で約1日ずれることを計算する。
3. 国立天文台の予測から、2025～2028年の春分の日を表にする。
4. The date changes because ～. の形で理由を英語で書く。

4. 世界の春分ポスター発表

高校・50分

🌀 春分を祝う世界の行事を調べ、日本との共通点と違いを英語で発表できる。

1. グループで1つ選ぶ（ノウルーズ、チチェン・イツァ、イースター、アンコール・ワットなど）。
2. When / Where / What do people do? / Why the equinox? の4項目で調べる。
3. 日本の春分の日・お彼岸と比べて、共通点と違いを1つずつ書く。
4. ポスターを貼り出し、ギャラリーウォーク形式で発表と質問をする。

5. 祝日と宗教をめぐるディスカッション

大学・60分

🌀 春季皇霊祭から春分の日への変化を題材に、祝日と宗教・国家の関係を英語で議論する。

1. history の節と advanced の英文を読み、1878年と1948年の変化を英語で要約する。
2. ほかの国の宗教由来の祝日（クリスマス、イードなど）の扱いを調べる。
3. Should a modern state keep holidays with religious roots? について賛成・反対に分かれて準備する。
4. ディベートのあと、自分の考えを200語程度の英文で書く。



1. 教室で「真東」を探そう

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

east, west, north, south をジェスチャーつきで言え、The sun rises in the east. の文を春分の日 of 太陽と結びつけて覚える。

準備

- 方位磁針（compass）を1つ以上（グループに1つあるとよい）
- E・W・N・S のカード（教室の4つの壁に貼る用）
- 朝日と夕日の写真
- 基本セット p.6（迷路：Help Yuto walk toward the rising sun!）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	east / west / north / south をジェスチャーつきで練習する（east は右手を横に、west は左手を横に、など教室の向きに合わせて決めておく）。先生が言った方角のジェスチャーを素早くする。	方角の英語をまねて言い、ジェスチャーをつける。	"Let's learn four directions." "East! West! North! South!" "I say a word. You show me the gesture."
展開1	5	方位磁針を見せて compass という言葉を教え、子どもと一緒に教室の東を確かめる。E・W・N・S のカードを壁に貼る。Point to the east! のゲームをし、慣れたら Turn to the west! など動きを変える。	方位磁針で東を確かめ、先生の英語を聞いてその方角を指さす。	"This is a compass. Where is east?" "Point to the east!" "Turn to the west!" "Great job. You know the directions."
展開2	4	朝日の写真を東の壁に、夕日の写真を西の壁に貼る。The sun rises in the east. The sun sets in the west. を写真を指しながら全員で声に出して読む。	写真を見ながら2つの文を声に出して読む。	"Look. The sun rises in the east." "The sun sets in the west." "Read with me."
まとめ	3	「春分の日には、太陽がちょうど真東からのぼって、真西にしずむ」と伝える。家で朝日を見て、どの方角からのぼったか確かめてみようと言をかける。p.6 の迷路を宿題やすきま時間に配る。	春分の日 of 太陽の話聞き、家で朝日を見る約束をする。	"On Vernal Equinox Day, the sun rises exactly in the east." "Look at the sunrise at home." "Where does the sun rise? Tell me next time."

板書例

compass
north
west east
south

The sun rises in the east.

The sun sets in the west.

春分の日：太陽は真東からのぼり、真西にしずむ

評価のポイント

- 先生の英語を聞いて、正しい方角を指させたか。
- The sun rises in the east. を声に出して言えたか。

つまづきへの手だて

- 方角が覚えにくい子には、壁に貼ったカードを見ながら答えてよいことにする。
- east と west をとりちがえる子には、朝日と夕日の写真を手がかりにさせる。
- 動きが苦手な子には、指さしだけで参加させる。

発展

- 基本セット p.6 の迷路（日の出に向かって進む）に取り組む。
- 基本セット p.8 のなぞり書き（sunrise・flower など）とぬりえに取り組む。
- Simon says のように、Simon says point to the north! だけ動くゲームにする。

使う教材

- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）



2. 春分の日を英語で30秒スピーチ

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

本文の表現を使い、「いつ・何をする・おもしろい事実」の3つを入れて、春分の日を外国の人に30秒で紹介できる。

準備

- このサイトの英語ページ本文（印刷・人数分）と音声
- スピーチ原稿シート（いつ／何をする／おもしろい事実の3つの欄）
- タイマー（30秒を計る）
- 基本セット p.7（作文：To explain Vernal Equinox Day to a friend from abroad, ...）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	英語ページ本文を音声で聞かせる。聞きながら、使える文（national holiday / visit graves / botamochi など）に線を引かせる。	音声を聞いて本文を読み、スピーチに使えるような表現に線を引く。	“Listen and read the text.” “Underline useful sentences for your speech.” “What did you underline?”
展開1	8	原稿シートの3つの欄に、本文の文を使って原稿を書かせる。「おもしろい事実」は本文から1つ選ばせる（例：In 2026, the equinox came only 14 minutes before midnight. / In Iran, this day is the start of a new year.）。	いつ・何をする・おもしろい事実の3つを英語で書き、30秒の原稿を作る。	“First, when is the holiday?” “Second, what do people do?” “Third, choose one surprising fact from the text.”
展開2	7	ペアで練習させる。1人がタイマーを持って30秒を計り、聞き手は発表のあとに英語で質問を1つする。役割を交代し、もう一度練習する。	ペアでスピーチを練習し、相手の発表に1つ質問する。	“Practice with your partner. You have 30 seconds.” “Listener, ask one question after the speech.” “Now change roles.”
まとめ	6	数人に全体の前で発表させる。聞き手は、一番おもしろかった事実をノートにメモする。最後に何人かにどの事実が印象に残ったかを聞く。	発表を聞き、いちばんおもしろかった事実をメモする。	“Who wants to try in front of the class?” “Listeners, write down the most interesting fact.” “Which fact did you like best?”

板書例

My 30-second speech

- ① When? Vernal Equinox Day is a national holiday in March.
- ② What? Many families visit their family graves. / People eat botamochi.
- ③ Fun fact! In 2026, the equinox came only 14 minutes before midnight.
In Iran, this day is the start of a new year.

評価のポイント

- スピーチに「いつ・何をする・おもしろい事実」の3つが入っているか。
- 30秒以内で、相手の目を見て話せたか。
- 聞き手として、内容に関する質問を英語でできたか。

つまづきへの手だて

- 原稿が書けない生徒には、本文の文をそのまま3つ書き写すところから始めさせる。
- 読むのに精一杯の生徒には、ペア練習で1文ごとに顔を上げる練習をさせる。
- 質問が出ない生徒には What is botamochi? / When is it this year? などの例を渡す。

発展

- 英語ページの会話（ノアとさくら）を読み、日付が毎年変わることを説明する言い方を足す。
- 基本セット p.7 の作文 To explain Vernal Equinox Day to a friend from abroad, I would say ... に取り組む。
- Discussion の問い Which do you like better, spring or fall? Why? を使ってペアで話す。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文と音声
- 基本セット p.7（作文）



3. なぜ日付が変わる？天文学ミニ実験

授業手順書（詳細版）／対象：中学／30分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

1年が約365日と6時間であるために暦が少しずつずれることを、モデルと計算で理解し、The date changes because ～. の形で理由を英語で書ける。

📦 準備

- ボール（地球）と電気スタンドまたは懐中電灯（太陽）
- 計算用のワークシート（1年目～4年目のずれを書く表）
- 2025～2028年の春分の日表（空欄入り：2025・2026・2028年は3月20日、2027年は3月21日）
- このサイトの英語ページ本文の第2段落と音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「春分の日は毎年同じ日付？」と聞き、カレンダーで確かめさせる。英語ページ本文の第2段落を聞かせ、But the holiday has no fixed date. の意味を確認する。	カレンダーで春分の日を確かめ、日付が決まっていなことを知る。	"Is Vernal Equinox Day always on the same date?" "Listen. The holiday has no fixed date." "So who decides the date?"
展開1	8	電灯を太陽、ボールを地球にして、地球が太陽のまわりを1周する様子を生徒に動かしてもらう。1周にかかる時間が約365日と6時間であることを英語で示す。	モデルを動かし、地球が太陽のまわりを回ることと、1週の時間を確かめる。	"This light is the Sun. This ball is the Earth." "The Earth goes around the Sun." "One year is about 365 days and 6 hours."
展開2	7	表に1年目6時間、2年目12時間、3年目18時間、4年目24時間とずれを書かせ、4年で約1日ずれることを計算させる。うるう年の2月29日でずれをもとしていることを伝える。	ずれを計算して表を埋め、4年で約1日になることを確かめる。	"After one year, six hours are left over." "After four years, how many hours?" "Yes, 24 hours. That's one day." "So we add February 29 every four years."
展開3	5	国立天文台の予測から、2025～2028年の春分の日表を完成させる（2025・2026・2028年は3月20日、2027年は3月21日）。2026年は春分の瞬間が23時46分で、あと14分で3月21日だったことを紹介する。	表を完成させ、うるう年（2028年）は春分より前に2月29日が入るので、日付がもどることに気づく。	"Look at the table. Which year is different?" "2027 is March 21." "In 2026, the equinox came only 14 minutes before midnight."
まとめ	5	The date changes because ～. の形で理由を英語で1～2文書かせる。数人に読ませ、よい文を板書する。	日付が変わる理由を英語で書き、発表する。	"Why does the date change? Write one or two sentences." "Start with 'The date changes because ...'" "Read your sentence, please."

📝 板書例

Q. Why does the date of Vernal Equinox Day change?

One year = about 365 days and 6 hours

1 year 6 h / 2 years 12 h / 3 years 18 h / 4 years 24 h = 1 day
→ February 29 (leap day)

2025 March 20 / 2026 March 20 / 2027 March 21 / 2028 March 20
2026 : 11:46 p.m. (あと14分で3月21日)

The date changes because ____.

✅ 評価のポイント

- 4年で約1日ずれることを計算で確かめられたか。
- The date changes because ～. の文で、1年の長さと暦のずれを結びつけて書けたか。

👉 つまづきへの手だて

- 計算が苦手な生徒には、6時間ずつ足していく表の1年目だけ先生が書いておく。
- 英文が書けない生徒には one year is longer than 365 days という語句を渡し、because のあとに入れさせる。
- モデルの動きが分かりにくい生徒には、自分が地球になって電灯のまわりを歩かせる。

🚀 発展

- 発展英文 When Astronomy Writes the Calendar を読み、毎年2月に官報で翌年の春分の日が発表されることを確かめる。
- 計算では2092年に春分の日が3月19日になる見込みであることを紹介し、なぜ早まるのかを考えさせる。
- Discussion の問い Should all holidays have a fixed date, or is it nice to have a holiday decided by nature? を考える。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第2段落）と音声
- 発展英文 When Astronomy Writes the Calendar



4. 世界の春分ポスター発表

授業手順書（詳細版）／対象：高校／50分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

春分を祝う世界の行事を When / Where / What / Why の4項目で調べ、日本の春分の日・お彼岸との共通点と違いを英語で発表できる。

準備

- 記事の国くらべ表（イラン・メキシコ・キリスト教の国々・カンボジアなど。グループに1部）
- 調べ学習用の端末（グループに1台）
- 模造紙（グループに1枚）とマーカー
- アクティビティ集 B5（国くらべ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「春分の日、世界では何をしている？」と問う。国くらべ表から、イランでは春分が新年ノウルーズであることだけを紹介し、ほかの国も調べようと伝える。	世界の春分について予想し、イランの例を聞く。	“What do people do on the spring equinox around the world?” “In Iran, the new year starts on the equinox. It's called Nowruz.” “Let's find out more.”
展開1	15	グループでノウルーズ、チチェン・イツァ、イースター、アンコール・ワットなどから1つ選ばせ、When / Where / What do people do? / Why the equinox? の4項目で調べさせる。出典をポスターの隅に書くよう指示する。	選んだ行事を4項目で調べ、英語でメモする。	“Choose one event in your group.” “Find out when, where, what people do, and why the equinox matters.” “Write your sources on the poster.”
展開2	10	日本の春分の日・お彼岸（お墓参り、ぼたもち、太陽が真東からのぼる）と比べ、共通点と違いを1文ずつ英語で書かせる。調べた内容と合わせてポスターを仕上げさせる。	日本との共通点と違いを1文ずつ書き、ポスターにまとめる。	“Compare your event with Vernal Equinox Day in Japan.” “Write one similarity and one difference.” “Both ... and But”
展開3	15	ポスターを教室に貼り出し、ギャラリーウォーク形式で発表する。グループの半分が説明役、半分が見て回る役になり、7分で交代する。見て回る生徒は、各ポスターで質問を1つする。	説明役はポスターを英語で説明し、見て回る役は質問をする。	“Half of your group stays and explains. The other half walks around.” “Ask one question at each poster.” “Time to change.”
まとめ	5	「春分を新しい年の始まりにする国が多いのはなぜか」を問い、2〜3人に答えさせる。南半球のオーストラリアでは3月の分点が秋の始まりであることも紹介して終える。	各国の共通点を考え、自分の考えを英語で1文言う。	“Why do many people see the equinox as a new start?” “Remember, in Australia, March is the start of fall.” “Thank you for your great posters.”

板書例

The spring equinox around the world
When? / Where? / What do people do? / Why the equinox?

Iran : Nowruz (New Year)

Mexico : Chichen Itza (a snake-like shadow)

Christian countries : Easter (Sunday after the first full moon on or after March 21)

Cambodia : Angkor Wat (sunrise over the central tower)

Both ____ and Vernal Equinox Day ____.

But ____.

評価のポイント

- 4項目がそろい、出典が書かれたポスターになっているか。
- 日本の春分の日との共通点と違いを、英語で1文ずつ説明できたか。
- ギャラリーウォークで、ほかのグループに内容に関する質問ができたか。

つまづきへの手だて

- 調べるのに時間がかかるグループには、国くらべ表の情報だけでポスターを作ってよいことにする。
- 英語の説明が苦手な生徒には、ポスターのキーワードを指しながら話す練習をさせる。
- 質問が思いつかない生徒には How many people ...? / What do they eat? などの質問例を渡す。

発展

- Discussion の問い Many countries celebrate a new year at the spring equinox. Why do you think spring feels like a new start? について短い英文を書く。
- 3月20日が国連の国際幸福デーであることを調べ、ポスターに加える。
- 記事の「よくある誤解とホント」を読み、昼と夜が同じ長さではないことを確認する。

使う教材

- 記事の国くらべ表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）



5. 祝日と宗教をめぐるディスカッション

授業手順書（詳細版）／対象：大学／60分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

春季皇霊祭から春分の日への変化（1878年・1948年）を英語で要約し、宗教にルーツを持つ祝日を近代国家がどう扱うべきかについて、他国の例を根拠に英語で議論できる。

📁 準備

- 記事の「春分の日」の歴史」の節と、英語ページの発展英文 When Astronomy Writes the Calendar（印刷・人数分）
- 調べ学習用の端末（グループに1台）
- ディベートの準備シート（主張・根拠・予想される反論の欄）
- タイマー

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	7	「春分の日は何のための祝日？」と問い、法律上の趣旨「自然をたたえ、生物をいつくしむ」を示す。一方で多くの人がお墓参りをすることを確認し、法律と実際の過ごし方のずれに目を向けさせる。	祝日法の趣旨と、実際の過ごし方を比べる。	“What is the purpose of Vernal Equinox Day by law?” “To praise nature and care for living things.” “But what do many people actually do on this day?”
展開1	13	歴史の節を読み、1878年（太政官布告で春季皇霊祭として休日）と1948年（祝日法で春分の日に、宗教色をなくした）の変化を英語で要約させる。発展英文を読み、今の春分の日が天文学で日付を決める祝日であることも確認する。	1878年と1948年の変化を英語2～3文で要約し、発表する。	“Read the history section.” “What happened in 1878? What changed in 1948?” “Summarize the change in two or three sentences.”
展開2	12	グループで、ほかの国の宗教由来の祝日（クリスマス、イードなど）を1つ選び、その国で祝日としてどう扱われているかを調べさせる。出典をメモさせる。	他国の宗教由来の祝日を調べ、扱いの例を英語でまとめる。	“Choose one religious holiday in another country.” “Is it a public holiday there? How do people treat it?” “Note your sources.”
展開3	18	Should a modern state keep holidays with religious roots? について賛成・反対に分かれ、準備5分ののち、立論2分・反論2分ずつでディベートを行う。調べた他国の例を根拠に使うよう促す。	賛成・反対に分かれて準備し、根拠をあげて英語で議論する。	“Should a modern state keep holidays with religious roots?” “You have five minutes to prepare.” “Use the examples you found as evidence.” “Now, the other side. Please respond.”
まとめ	10	ディベートをふり取り、どちらの根拠が説得力があったかを短く話し合う。最後に自分の考えを200語程度の英文で書かせる（書き終わらない分は課題）。	議論をふり取り、自分の考えを200語程度の英文で書き始める。	“Which argument was the strongest? Why?” “Now write your own view. About 200 words.” “Use one example from Japan and one from another country.”

📝 板書例

Vernal Equinox Day
806 Higan service begins（彼岸会）
1878 春季皇霊祭 → a day off（imperial rites）
1948 Holiday Law → 春分の日
purpose: to praise nature and care for living things（no religious meaning）
Today: many people visit family graves / the date is set by astronomy

Motion: Should a modern state keep holidays with religious roots?
For / Against evidence: Christmas, Eid, ...

✅ 評価のポイント

- 1878年と1948年の変化を、事実に合った英語で要約できたか。
- ディベートで、調べた他国の例を根拠として使えたか。
- 意見文が200語程度で、立場と根拠が明確か。

🟡 つまづきへの手だて

- 要約が苦手な学生には、In 1878, ... became In 1948, ... changed it into ... の型を渡す。
- 調べる対象に迷うグループには、クリスマスカイドのどちらかに決めて調べさせる。
- ディベートで発言しにくい学生には、立論の原稿を読む役を割り当てる。

🌟 発展

- 発展英文の第3段落を読み、海岸法が春分の日を基準にしていることを、祝日が宗教以外の役割も持つ例として議論に加える。
- 宮中では今も春分の日には春季皇霊祭が行われていることを記事で確かめ、祝日の名前と行事の関係を考える。
- 秋分の日（秋季皇霊祭から秋分の日へ）と比べる。

📖 使う教材

- 記事「春分の日」の歴史」の節
- このサイトの英語ページの発展英文 When Astronomy Writes the Calendar